

報道関係者各位

平成 22 年 8 月 日

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

奈良先端大  
**公開講座 2010**  
**「基礎から学ぼう～人と人をつなぐ情報科学～」**

奈良先端科学技術大学院大学（学長：磯貝彰）は、**公開講座 2010「基礎から学ぼう～人と人をつなぐ情報科学～」**を開催いたします。

コンピュータやネットワーク、ロボット等に用いられている情報科学はこの数十年間で社会に大きな変革をもたらし、人同士の繋がりを支える基盤技術として、無くてはならないものになりました。本講座では、情報科学の基礎理論と最先端の応用技術の両方をバランスよく、わかりやすく解説します。

つきましては、取材方よろしくお願ひいたします。

なお、別添のとおり開催概要をお送りいたしますので、併せて記事掲載方よろしくお願ひいたします。

**【日 時】** 平成 22 年 10 月 30 日（土）、11 月 6 日（土）、11 月 20 日（土）、11 月 27 日（土）  
13 時 15 分～16 時 00 分

**【場 所】** 奈良先端科学技術大学院大学内 ミレニアムホール  
（奈良県生駒市高山町 8916-5、けいはんな学研都市）

**【定 員】** 400 名（申込順）

**【参加資格】** どなたでもご参加いただけます（要申込）。

**【受講料】** 無料

**【申込方法】** 郵送または FAX にて「受講申込書」を公開講座担当窓口までお送りいただくか、  
本学ホームページ(<http://www.naist.jp/>)からお申し込みください。

**【申込締切】** 平成 22 年 10 月 19 日（火）[必着]

**【問い合わせ先・公開講座担当窓口】**

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学  
教育研究支援部 企画総務課 広報渉外係  
〒630-0192 奈良県生駒市高山町 8916-5（けいはんな学研都市）  
TEL：0743-72-5112 FAX：0743-72-5011  
E-mail：s-kikaku@ad.naist.jp

**【奈良先端科学技術大学院大学 ホームページ】**

**URL：http://www.naist.jp/**



NAIST.

国立大学法人  
奈良先端科学技術大学院大学  
| 公 | 開 | 講 | 座 | 2010 |

NARA INSTITUTE OF SCIENCE and TECHNOLOGY

基礎から学ぼう

# 人と人を 情報科学

Information Science

# つなぐ

コンピュータやネットワーク、ロボット等に用いられている情報科学はこの数十年間で社会に大きな変革をもたらし、人同士の繋がりを支える基盤技術として、なくてはならないものになりました。本講座では、情報科学の基礎理論と最先端の応用技術の両方をバランスよく、わかりやすく解説します。



- 会 場  
奈良先端科学技術大学院大学内  
ミレニアムホール
- 定 員  
400名(申込順)
- 参加資格  
どなたでも  
ご参加いただけます。(要申込)

受講料  
無料

受講希望者は、「受講申込書」を申込締切日(平成22年10月19日(火))までに、郵送、FAX又は持参してください。本学のホームページからも申込みができます。(電話での受付は行いません)



10月30日 日 13時15分～16時00分  
平田 健太郎: The control around us  
～われらをめぐる制御～  
野田 賢: コンピュータの目があなたの  
運転行動に潜むリスクを見つける

11月20日 土 13時15分～16時00分  
井上 美智子: コンピュータを速く正しく  
動作させるための技術  
小笠原 司: 高齢化社会を支えるロボット技術

11月6日 日 13時15分～16時00分  
池田 和 司: 社会に現れる情報理論  
浮田 宗 伯: 高齢化社会における生活の  
質向上のためのマルチメディア計画

11月27日 土 13時15分～16時00分  
千原 剛 宏: ユビキタスメディアと電脳コイル  
萩田 紀博: 環境知能で日常生活はこう変える  
～ネットワークロボット時代がやってくる～



<http://www.naist.jp/>

奈良先端大

検索

お問い合わせ・お申し込み先

国立大学法人  
奈良先端科学技術大学院大学

教育研究支援部 企画総務課 広報課外係  
〒630-0192 奈良県生駒市吉山町8916-5 (けいはんな学研都市)

TEL:0743-72-5112 FAX:0743-72-5011  
E-mail:s-kikaku@ed.naist.jp

13:15~14:30

10月 30日 土

14:45~16:00

●応用システム科学講座

平田 健太郎 准教授

(ひらた けんたろう)



The control around us  
~われらをめぐる制御~

制御工学は今日の私たちの社会を支えている重要なテクノロジーのひとつですが、少々取っつきにくいところがあるのも事実です。そこで本講座では、できる限り身近なものを通して、その基本的な概念や理論の基礎について触れることを目指します。話題とする予定のものは、紙ヒコーキ、拡声器、カヌー、メトロノーム、ドアストッパー、自転車、大道芸、機械式時計、天体望遠鏡などです。

●システム制御・管理講座

野田 賢 准教授

(のだ まさる)



コンピュータの目があなたの運転行動に  
潜むリスクを見つける

多くのドライバーは自分の運転行動は安全だと思っています。本講座では、車速、アクセル・ブレーキ操作、左右確認動作についての実測データと交差点進入時の左右見通しデータを用いて、ドライバーの運転行動に潜むリスクをマイクロに分析し、その安全度を定量的に評価する方法をご説明します。京阪奈地区で行った交差点通過行動実験で多く見られた典型的な不安全運転行動をご覧いただき、ドライバー個人毎の診断と改善のための教育プログラムについてご紹介します。

13:15~14:30

11月 6日 土

14:45~16:00

●論理生命学講座

池田 和司 教授

(いけだ かずし)



社会に現れる情報理論

情報といえばコンピュータと思いませんか？情報は実は確率なのです。そしてその性質を議論する学問が情報理論です。本講座では、情報と確率がどう結びつか、確率がどんな性質をもっているかを基礎からやさしく解説し、実生活の中でそれをどのように利用するか、あるいはどのように役に立っているかを、具体例を挙げながら紹介します。

●知能情報処理学講座

浮田 宗伯 准教授

(うきた のりみち)



高齢化社会における生活の  
質向上のためのマルチメディア計測

質の高い生活のためには「自立した生活のための身体能力（身体的な健康の維持・向上・回復など）」や「対話や触れ合いからなる社会性」などが重要になります。これらの能力を、マルチメディアを利用した計測によって支援するための研究・開発についてご紹介します。また、今日または近い未来に來るべき新しい高齢化社会の姿についてもお話しさせていただきます。

13:15~14:30

11月 20日 土

14:45~16:00

●コンピュータ設計学講座

井上 美智子 准教授

(いのうえ みちこ)



コンピュータを速く正しく  
動作させるための技術

パソコンの心臓部であるプロセッサ。最新のプロセッサは7億個以上のトランジスタという部品で構成されていて、出荷するにはすべてのトランジスタが正常に動作することを確認するって知っていますか？高度情報処理社会を支える半導体製品のテスト技術の進化と直面する問題を紹介します。1970年代のスパコンよりも何十倍も高速なパソコンがきちんと動く仕組みがわかります。

●ロボティクス講座

小笠原 司 教授

(おがさわら つかさ)



高齢化社会を支えるロボット技術

高齢化社会において、福祉や介護の分野でロボット技術の利用が期待されています。ロボットが我々の日常生活を支援するためには、人の動きや意図を理解する必要があります。ロボットは人の位置・姿勢、動きなどをどのように理解し、人を支援しているのでしょうか？人の計測とモデリングに関する研究成果を紹介するとともに、社会生活の中で人を支援するためのロボットに関する研究について紹介します。

13:15~14:30

11月 27日 土

14:45~16:00

●像情報処理学講座

千原 國宏 教授

(ちはら くにひろ)



ユビキタスメディアと電脳コイル

バーチャルは「事実上の、実質上の、実際の」という意味であり、バーチャルゴールドは紙幣や硬貨、またクレジットカードやE d yなどの電子マネーを意味する事実上の通貨です。本講座では、バーチャルリアリティという新しい概念によって、病院や図書館あるいは博物館などに新しい科学的ツールを提供して、人間生活を豊かにしていく研究を紹介します。

●環境知能学講座

萩田 紀博 客員教授

(はぎた のりひろ)



環境知能で日常生活はこう変える  
~ネットワークロボット時代がやってくる~

この10年でパソコンや携帯電話を使って、その場に行かなくてもインターネットから買物をしたり、知りたい情報をgetする(取る)ことができるようになり、また、これからの10年で、実環境が賢い知能を持つようになり、その場に行くとお得な情報やロボットが手助けするサービスをgetする時代がやってきます。この環境知能とロボットの関わり方について、最新動向をわかりやすく紹介します。